

☆JPA北海道・東北ブロック交流会 青森で開催

8月29、30日 7道県の難病連から約140名が参加

JPA北海道・東北ブロック交流会が8月29、30日の両日、青森市内のホテル「アップルパレス青森」に於いて開催され、北海道、秋田、岩手、山形、宮城、福島、青森から約140名が出席されました。

初日は開会の挨拶に引き続き、第1部としてJPA前代表理事伊藤たてお氏から「新しい難病法におけるこれからの諸問題」の基調講演を頂きました。障害者総合支援法について認識と理念の話があり行政への働きかけなど大変勉強になりました。

第2部では「新しい難病法におけるこれからの諸問題」と題しシンポジウムが行われ、パネリストの皆さんから様々な立場での提言を頂き、会場からも活発な発言や質疑応答がありました。

- | | | |
|------------|------------------|--------|
| ① 医療の立場から | 青森県難病医療連絡協議会 | 富山 誠彦氏 |
| ② 就労の立場から | 障害者職業総合センター研究員 | 春名由一郎氏 |
| ③ 難病連の立場から | 岩手県難病連 代表理事 | 千葉 健一氏 |
| | 患者代表 | 駒場 恒雄氏 |
| ④ 患者の立場から | 全国膠原病友の会青森県支部会長 | 中村 房子氏 |
| | 全国膠原病友の会青森県支部副会長 | 永森志織氏 |

第3部の交流会では夕食を摂りながら、津軽三味線演奏鑑賞や各道県の紹介で大変盛り上がり、楽しいひと時を過ごし参加者相互の交流を深めることができました。

2日目は2つの分科会に分かれ、A班は三内丸山遺跡見学を、B班は「難病支援センターの役割と運営上の問題について」をテーマに意見交換が行なわれました。

A班の三内丸山遺跡見学では参加者の皆さんから、たくさんの竪穴住居跡や掘立柱建物跡等、ガイドさんの説明で縄文時代の生活の一端がよく解かったとの感想がありました。

また、B班では各道県の難病支援センターについて代表者が現状報告を行った後、伊藤たてお氏からは難病支援センターの今後の在り方についての意見を頂き、活発な討議が行われました。各道県の情報交換と合わせて、お互いの日頃の苦労も共有でき良かった等の意見がありました。

大会は2日目の午前中で終了となり、また来年会えることを楽しみに、再会を約束して散会となりました。

